

目黒区立スポーツ施設指定管理者
運営評価結果報告書
(令和 6 年度)

令和 7 年 9 月
目黒区立スポーツ施設指定管理者運営評価委員会

I 評価基準及び評価方法について

1 運営評価の目的

指定管理者の運営評価は、指定管理者が行った目黒区立スポーツ施設の管理運営業務が当初の提案内容どおりに実施されたか、それにより適切な住民サービスが提供されたかについて毎年継続的に評価し、その結果に基づき区と指定管理者が相互に連携し、業務の改善を図り、より一層の「住民サービスの向上」と「経費の効率的な活用」を推進することを目的とする。

2 運営評価の方針

運営評価にあたっては、公平・公正な評価を実施するため、指定管理業務全般にわたる評価項目及び評価基準とする。

また、評価にあたっては、数値化〔点数評価〕するとともに、その結果が運営評価後の業務に生かされるよう所見〔所見評価〕を加える。

3 運営評価の単位

指定管理者に対する運営評価は、指定管理の単位ごとに行う。

指定管理の単位	名 称
A	駒場体育館、駒場プール、駒場庭球場・ゲートボール場
B	目黒区民センタ一体育館、目黒区民センタープール、目黒区民センター庭球場
C	碑文谷体育館、碑文谷野球場、碑文谷庭球場
D	中央体育館
E	八雲体育館、宮前公園庭球場
F	砧野球場、砧サッカー場（区外施設）

4 評価項目及び評価基準

評価項目及び評価基準は、各グループ共通とし、具体的な内容は次表のとおりとする。

評価項目は、大きく次の3項目とし、22の中項目を定めた。

- ① サービスの実施に関する事項
- ② 経営能力等に関する事項
- ③ 管理運営経費の効率的な活用

5 評価項目及び評価基準

I	サービスの実施に関する事項 (配点 80 点)	配点
	(1) 運営方針	5
	(2) 事業方針	5
	(3) 利用率向上	5
	(4) 利用者サービス向上	10
	(5) 幅広い対象者に向けた事業提供	5
	(6) 地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5
	(7) 区民や区内事業者の積極的な活用	5
	(8) 公平な利用の確保	5
	(9) 利用者ニーズの把握・反映	5
	(10) トラブル・苦情対応	5
	(11) 総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5
	(12) 選定時の提案内容・事業の実施の有無	20
II	経営能力等に関する事項 (配点 65 点)	
	(1) 団体の経営状況	10
	(2) 管理運営体制	10
	(3) 施設・附属設備・物品の維持管理	5
	(4) 研修体制	10
	(5) 個人情報保護及び情報公開の取組	5
	(6) 安全・安心な運営の取組	10
	(7) 事故などの危機管理体制	10
	(8) 環境配慮	5
III	管理運営経費の効率的な活用 (配点 15 点)	
	(1) 収支状況の妥当性	5
	(2) 収益増加の取組	10

合計	160 点満点
----	---------

6 評価方法

評価委員会において、指定管理者から提出された事業報告とあわせて、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等を参考に、評価基準ごとに点数評価し、その総得点をもって総合評価を行う。第4期指定期間の募集要項では、東京2020レガシー事業やICTの利活用などを盛り込み、社会情勢の変化等を踏まえて区民ニーズに合うスポーツ事業の提案を求めた。このため、第4期指定期間の募集要項に即した評価ができるように第3期指定期間の評価基準を改編し、重要視する項目の配点を高くするなどの見直しを行った。これに伴い、第4期指定期間は前指定管理期間までの125点満点から160点満点に変更した。なお、総得点は各評価委員がつけた点数の平均値とした。

また、今回の評価結果が今後の施設運営の参考となり、より良いサービスの提供と適切な管理運営に生かせるよう、所見評価及び改善事項等を付記する。

なお、評価点数については次のとおりとする。

ア 評価基準ごとの点数

	点数
十分水準を超えてる	5 (10~9) (20~17)
水準を超えてる	4 (8~7) (16~13)
水準に達してる	3 (6~5) (12~9)
水準に達していない	2 (4~3) (8~5)
かなり水準を下回っている	1 (2~1) (4~1)

※（ ）内は、配点10、配点20のとき

イ 総得点に対する総合評価

全ての項目が「3」(配点10の項目は「6」、配点20の項目は「12」)であった場合の総得点「96点」を最低とし、それより低い場合は、「不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である」と評価する。

また、総合評価においては「適正な管理運営ができている」以上の得点であるが、個別の評価項目に評価点数「1」(配点10の項目は「2以下」、配点20の項目は「4以下」)がついた場合についても、「不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である」と評価する。

総得点	総合評価
144点以上	特に優れた管理運営ができている
115点以上144点未満	優れた管理運営ができている
96点以上115点未満	適正な管理運営ができている
96点未満	不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である

(満点：160点)

II 令和6年度管理運営業務の評価結果

「I 評価基準及び評価方法について」に基づき、次のとおり評価した。

1 総合評価

平成20年度から全ての区立スポーツ施設（14施設）について指定管理者制度を導入し、今回、第4期2年目の運営評価を実施した。

評価項目は、目黒区立スポーツ施設の特性を考慮し、「サービスの実施に関する事項」、「経営能力等に関する事項」、「管理運営経費の効率的な活用」の3項目に分けて、対象施設の管理の単位（グループA～F）ごとに評価を行った。

結果、1施設において、「優れた管理運営ができている」、5施設において、「適正な管理運営ができている」と評価した。

なお、更なる管理運営の向上に向けて、今後の課題や検討事項について意見を付したので、適切な対応等を図ることを各指定管理者に求める。

グループ名	対象施設	指定管理者名	総得点 (160点満点)	令和6年度 総合評価
A	駒場体育館 駒場プール 駒場庭球場・ゲートボール場	株式会社オーエンス	114.3	適正な管理運営 ができている
B	目黒区民センタービル 目黒区民センタープール 目黒区民センター庭球場	ミズノグループ（※）	112.0	適正な管理運営 ができている
C	碑文谷体育館 碑文谷野球場 碑文谷庭球場	特定非営利活動法人スバルテ目黒	108.8	適正な管理運営 ができている
D	中央体育館	特定非営利活動法人目黒体育協会	115.3	優れた管理運営 ができている
E	八雲体育館 宮前公園庭球場	シンコースポーツ株式会社	107.5	適正な管理運営 ができている
F	砧野球場 砧サッカー場 (区外施設)	協栄・目黒体育協会グループ (※)	109.8	適正な管理運営 ができている

（※）は共同企業体

2 評価詳細

(1) グループA

(駒場体育館、駒場プール、駒場庭球場・ゲートボール場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
114.3	適正な管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">地元との連携がよくできているスポーツの日テニスクリニック利用者が令和4年度の0人から令和6年度には130人に増加しているのは評価できる。各世代に対してスポーツに触れる機会が設けられている。接客、対応などスタッフに対する評価が高い。ホームページの改善により利用者の利便性の向上を図っている点は評価できる。こまばサンデースポーツとの連携は評価できる。HPの改修を進めた点は良い。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">さまざまな研修が実施されている。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">計画と乖離の少ない運営は評価できる。

ウ 今後の課題や検討事項等

<ul style="list-style-type: none">6年度の交流機会事業で利用者が0または1桁の教室があり、参加促進が必要。ふれあい広場の参加対象が、大橋えのき園の利用者のみとなっているが、拡大が必要ではないか。こま散歩の参加者が少ないが、チラシを各施設においておくだけでなく、掲示板等目に触れやすい方法を検討すべき。スポーツ相談やスポーツ情報の提供の実績がわからないが、オンラインでの実施など内容、周知等の検討が必要ではないか。高齢者はなかなか体育館まで行くことができない。例えば、住区センターなどを利用して出張スポーツ教室など検討してもいいのではないか。こまばサンデースポーツとの連携からクラブ化を期待する。収支差がマイナスであり、5年度は区への還元があったが、6年度は0となっている。選定時の提案事項について、未実施の項目について速やかに検討を始めてほしい。

評価項目等			配点	株式会社 オーエンス
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	4. 0
	(2)	事業方針	5	3. 8
	(3)	利用率向上	5	3. 8
	(4)	利用者サービス向上	10	7. 3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4. 0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	4. 0
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 5
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 3
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3. 8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 3
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3. 0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	13. 8
計1			80	57. 3
II 経営能力等に に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 5
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 5
	(4)	研修体制	10	6. 3
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	4. 0
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7. 0
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7. 3
	(8)	環境配慮	5	4. 0
計2			65	46. 5
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3. 8
	(2)	収益増加の取組	10	6. 8
計3			15	10. 5
評価得点計(計1+計2+計3)			160	114. 3

(2) グループB

(目黒区民センター体育館、目黒区民センタープール、目黒区民センター庭球場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
112.0	適正な管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">高齢者センターとの連携は評価できる。定着するとよい。一般公開事業、交流事業、無料公開事業等の利用者が拡大している。昨年に引き続き、ワンコインプログラム（500円）が多くの集客となっており、評価できる。自主サークル結成へのサポートは評価できる。各種の地域行事、イベントに参加していることは評価できる。提案内容の実現に進展がみられた。無料公開参加者前年比200%は評価できる。ランニングステーション機能の提供を開始したことは良い。eスポーツへの取り組みなど評価できる。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">さまざまな研修が実施されている。ニーズに合わせた物品販売（プロショップ）が行われており、販売額を増やすことができている。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">収支差が1,100万円を超えるマイナスとなっており、人件費の支出額が増加している。収益増は評価できる。

ウ 今後の課題や検討事項等

<ul style="list-style-type: none">障害者トレーニング相談は別日での対応となったが、障害者団体などへの周知を小まめに実施してほしい。無料公開が継続的な利用につながっているのか、分析が必要。ランニングステーションの利用者を増やし、有効活用するための取り組みを進めてほしい。利用者の増加はみられるが、一般公開、貸切での利用料収入が予算達成できていない。改善傾向が見られるが、引き続き、赤字の原因を分析し、改善方策を検討してほしい。

評価項目等			配点	ミズノグループ
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	4. 0
	(2)	事業方針	5	4. 0
	(3)	利用率向上	5	3. 8
	(4)	利用者サービス向上	10	7. 3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4. 0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3. 8
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 3
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 5
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3. 8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 8
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	2. 8
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	12. 8
計1			80	56. 5
II 経営能力等に に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 5
	(4)	研修体制	10	7. 0
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3. 8
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7. 0
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7. 0
	(8)	環境配慮	5	3. 8
計2			65	46. 3
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	2. 8
	(2)	収益増加の取組	10	6. 5
計3			15	9. 3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	112. 0

(3) グループC

(碑文谷体育館、碑文谷野球場、碑文谷庭球場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
108.8	適正な管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">認知症や高次機能障害者への活動の場の提供は評価できる。シニア向けの各種教室、講座はフレイル予防の観点からも大切だと思われる。乳幼児、幼児、児童といった多様なプログラムが用意されている。地域避難所としての機能を高めるための取り組みは良いので、続けてほしい。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">地域避難所体験イベントへの参加は地域避難所としての役割を果たすうえでも重要である。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">予算との乖離が小さくなったのは評価できる。

ウ 今後の課題や検討事項等

- 改善努力されているが、隨時見直しを行い、一層安全な場所にしてほしい。
- 業務研修は数多く実施されているが、人権研修、ハラスメント研修などの実施が必要ではないか。
- 講師都合により「こどもかけっこ教室」が中止となっているが、ユニークな事業なので再開を望む。
- シニアリトミック教室の1回あたりの参加者が他の教室に比べ少ないよう思う。
- 教室・講習会事業等の周知・PRで区内小中学校への配布とあるが、各校にどのように配布しているのか（枚数）。児童生徒や保護者の目につく配布となっているのか。数枚程度であれば効果は認められないと思う。
- 収支差がマイナス300万円であり、5年度は区への還元があったが、6年度は0となっている。
- 選定時の提案事項について、未実施の項目について速やかに検討を始めてほしい。

評価項目等			配点	特定非営利活動法人スポーツルーティン黒
I サービスの実施に関する事項	(1)	運営方針	5	4. 0
	(2)	事業方針	5	3. 5
	(3)	利用率向上	5	3. 8
	(4)	利用者サービス向上	10	6. 3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4. 0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3. 5
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 5
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 0
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3. 8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 5
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3. 8
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	12. 5
計1			80	55. 0
II 経営能力等に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 5
	(4)	研修体制	10	6. 5
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3. 5
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	5. 8
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7. 0
	(8)	環境配慮	5	4. 0
計2			65	44. 5
III 管理運営経費の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3. 3
	(2)	収益増加の取組	10	6. 0
計3			15	9. 3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	108. 8

(4) グループD
(中央体育館)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
115.3	優れた管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 館に興味を持ってもらえるような工夫がされている。 各競技場の利用状況が（大きく）拡大しているのは評価できる。 ふれあいスポーツ広場は障害のある方のスポーツ参加ということで意味がある取り組みである。 中学生卓球交流会は他校との交流等意義のある取り組みだと思う。 気仙沼物産展や被災地支援など有意義な事業となっている。 スポーツ障がい者交流会では、新たに参加施設が拡大している点は評価できる。 イベント開催時に高校生ボランティアを活用している点は良い。 利用率・利用者増は評価できる。 提案内容の実現に進展がみられた。 利用者懇談会をさまざまな教室や事業で実施していて良い。 苦情対応もその都度しっかりと対応している。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 合理的配慮、人権研修、個人情報保護等の研修を全職員対象に実施されていることは評価したい。 物品販売の実績が当初予算より減少しているが、利用者がどのような物販を望んでいるか把握する必要がある。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 人件費が大幅に支出減となっている。収支差額が1,600万円出ている。その結果、区への還元金が約480万円となった。 予算と乖離の少ない運営と区への還元は評価できる。

ウ 今後の課題や検討事項等

<ul style="list-style-type: none"> 災害時対応について、在館者と避難してきた人の誘導が心配。目印など。 ふれあいスポーツ広場は障害のある方のスポーツ参加ということで意味がある取り組みである。ただし、1回あたりの参加者が10名程度であり、障害者の参加拡大を望みたい。 スポーツ健康相談はニーズの高い事業だと思われる所以、個人指導などの充実を図ってほしい。 物品販売の実績が当初予算より減少しているが、利用者がどのような物販を望んでいるか把握する必要がある。 選定時の提案事項について、未実施の項目について速やかに検討を始めてほしい。

評価項目等			配点	特定非営利活動法人目黒体育協会
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3. 8
	(2)	事業方針	5	3. 8
	(3)	利用率向上	5	3. 8
	(4)	利用者サービス向上	10	7. 0
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4. 0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3. 5
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 8
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 3
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	4. 0
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 3
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3. 0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	13. 8
計1			80	56. 8
II 経営能力等に に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	10. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 8
	(4)	研修体制	10	6. 5
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3. 8
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7. 0
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7. 3
	(8)	環境配慮	5	3. 8
計2			65	48. 3
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3. 8
	(2)	収益増加の取組	10	6. 5
計3			15	10. 3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	115. 3

(5) グループE
(八雲体育館、宮前公園庭球場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
107.5	適正な管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいプログラムがたてられている。 西部地区包括支援センターとの連携はよい企画連携と思う。 らくらくストレッチや筋トレなどは高齢者の参加も多く、健康維持のためにも続けてほしい。 健康体力相談は年々増加しており、ニーズの高さが伺える。 健康運動指導士による月イチ講座は、毎回興味のあるテーマ設定で受講意欲が湧くものとなっている。 また栄養講座も毎回興味のあるテーマ設定となっている。他の地域でも同様の講習会があるといい。 介護予防セルフチェックの取り組みは継続してほしい。 イベント開催時に高校生ボランティアを活用している点はいい。 提案内容の実現に努めていることは評価できる。 館外活動の展開は良いので、今後も実施可能な機会を模索してほしい。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修、個人情報保護等の研修を実施していることは評価したい。
III 管理運営経費の効率的な活用	

ウ 今後の課題や検討事項等

<ul style="list-style-type: none"> PRに工夫があるが更に西部地区全体への働きを強化してほしい。 収支差がマイナス130万円であり、4年度よりは縮小したが、区への還元ができない。 多くの事業が令和4年度から5年度にかけて拡大したが、5年度から6年度の伸びが足踏み状態のように思える。 AIカメラの導入・活用については、しっかり検討してほしい。 オンラインレッスンについて、確かに「レッスン」のニーズは低くなっているかもしれないが、オンラインの「コンテンツ」を求めている人はいる可能性があるのではないか。実施しないと即断してしまうのではなく、やれることを模索する姿勢が大切なではないか。 障害者へのスポーツ指導についての講習について実施すること。

評価項目等			配点	シンコース ポーツ株 式会社
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3. 5
	(2)	事業方針	5	4. 0
	(3)	利用率向上	5	3. 5
	(4)	利用者サービス向上	10	7. 3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4. 0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3. 3
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 5
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 3
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3. 5
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 3
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	2. 8
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	11. 8
計1			80	53. 5
II 経営能力等に に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 3
	(4)	研修体制	10	6. 0
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3. 5
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	6. 5
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7. 0
	(8)	環境配慮	5	3. 8
計2			65	44. 3
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3. 3
	(2)	収益増加の取組	10	6. 5
計3			15	9. 8
評価得点計(計1+計2+計3)			160	107. 5

(6) グループF
(砧野球場、砧サッカー場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
109.8	適正な管理運営ができている

イ 区別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">屋外施設のため日常的修繕に小まめに対応している。ホームページのリニューアル等、利用者の利便性向上に努めている。HPのリニューアルを速やかに実施したことは良い。提案内容の実現に努めていることは評価できる。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">人権研修、コンプライアンス研修を実施していることは評価したい。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">災害によって利用料収入が減少する中、事業費支出も減少した。その結果、収支差プラス300万円とし、区への還元も可能としている。

ウ 今後の課題や検討事項等

- 仮設トイレの清潔さに対する苦情が多くなっている。
- 仮設トイレの臭いの問題については、解決方法を模索するとともに、これからも定期清掃をしっかり続けてほしい。
- 利便性の観点から区民の利用をどのように拡大するかが課題である。周知方法の検討が望まれる。
- 指定管理者の問題ではないが、災害を受けやすい立地、交通の利便性の問題等利用しにくいといった課題があり、その立地や運営についての検討が必要。
- これまで以上に温暖化、異常気象など対応が必要となるので、想定を超える対策が必要。

評価項目等			配点	協栄・目黒 体育協会 グループ
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3. 3
	(2)	事業方針	5	3. 5
	(3)	利用率向上	5	3. 8
	(4)	利用者サービス向上	10	6. 8
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	3. 3
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3. 5
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3. 0
	(8)	公平な利用の確保	5	3. 8
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3. 8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3. 5
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3. 0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	13. 8
計1			80	54. 8
II 経営能力等に に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8. 0
	(2)	管理運営体制	10	6. 5
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3. 5
	(4)	研修体制	10	6. 5
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3. 8
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	6. 8
	(7)	事故などの危機管理体制	10	6. 8
	(8)	環境配慮	5	3. 8
計2			65	45. 5
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3. 5
	(2)	収益増加の取組	10	6. 0
計3			15	9. 5
評価得点計(計1+計2+計3)			160	109. 8

1 目黒区立スポーツ施設指定管理者運営評価委員会委員名簿

氏名		所属	専門分野・経歴等
1 学識経験者			
委員長	木村 和彦 きむら かずひこ	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授	<p>【専門分野】 スポーツ経営学</p> <p>【経歴】 中央教育審議会スポーツ青少年分科会委員 東京都「体育施設」指定管理者選定委員 東京国体施設専門委員会委員長 東京都スポーツ振興審議会委員 東京都地域スポーツクラブ育成協議会副会長（現職） 東京都体育協会評議委員（現職） 日本スポーツ協会スポーツ医・科学委員会委員（現職） 東京都スポーツ推進モデル企業審査委員長（現職）</p>
委員	関根 正敏 せきね まさとし	中央大学 商学部准教授	<p>【専門分野】 スポーツ経営学</p> <p>【経歴】 多摩市立総合体育館等指定管理者候補者選定委員会 委員 日光市公の施設指定管理者選定委員会 委員 栃木県体育施設指定管理者選考委員会 委員 第77回国民体育大会栃木県準備委員会 専門委員 日本体育・スポーツ経営学会 理事（現職）</p>
2 区民			
委員	山田 秀昭 やまだ ひであき	東山住区住民会議	東山住区住民会議
委員	小林 節子 こばやし せつこ	中根住区住民会議 会長	中根住区住民会議会長
3 外部有識者（アドバイザー）			
	三浦 泰史 みうら たいし	東京税理士会 目黒支部	<p>【専門分野】 税務・会計</p> <p>【資格】 公認会計士 税理士</p>

2 評価経過

令和7年6月16日	目黒区立スポーツ施設指定管理者運営評価委員会 ・令和6年度指定管理業務の運営評価について
令和7年8月1日	目黒区立スポーツ施設指定管理者運営評価委員会 ・令和6年度指定管理業務の運営評価結果の確定について

以上